

製品名: 転写因子7類似体2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00093**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 68 kDa; Observed MW: 68 kDa

抗原情報

遺伝子名	TCF7L2
別名	TCF7L2; HMG box transcription factor 4; HTCF-4; T-cell factor-4 variant X2; T-cell factor 4; Transcription factor 7-like 2; TCF-4
遺伝子 ID	6934
SwissProt ID	Q9NQ80
免疫原	-

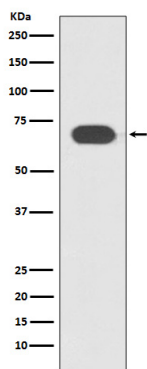
背景

Wntシグナル伝達経路に関与し、MYCプロモーターに配列特異的に結合してMYCの発現を調節する。CTNNB1が存在しない場合にはリプレッサーとして、存在する場合にはアクティベーターとして作用する。CTNNB1が存在する場合、Tcfモチーフ5'-CCTTGATC-3'を複数コピーしたプロモーターからの転写を活性化する。TLE1、TLE2、TLE3、およびTLE4は、TCF7L2/TCF4およびCTNNB1を介した転写活性化を抑制する。

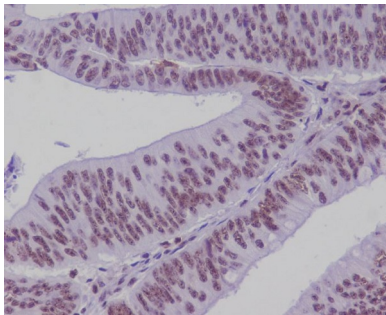
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



転写因子7類似体2抗体を使用した、Jurkat溶解物中のTCF7L2のウェスタンブロット分析。



TCF7L2抗体を使用したパラフィン包埋ヒト結腸癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。